

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 01 一般管理費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	113000000						
					うち復活額	一般財源	所属課名	防災安全課							
		2,000	4,400	2,400	2,400	0	0	内線番号							
大 中 小 細	事 業 業 業							045 自主防災組織育成事業	00	00	0	0	実 施 計 画	部 章 節 細 節	ゆとりある心豊かな米子 『暮らし』がいきいき 魅力あふれる定住のまちづくり 災害に強い地域社会づくり
		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	本年度の財源内訳							
			0	0	0	2,400	0	財源	款	項	目	節	細	節	金額
1. 事業の概要と必要性 (事業概要) 自主防災組織の活性化及び育成、また自主的な防災活動の促進を図る。 (補正理由) (財)自治総合センター所管の「平成20年度コミュニティ助成事業(自主防災組織育成)」及び「平成20年度地域安心安全ステーション整備モデル事業」の交付決定があり、当該事業費を増額した事による。					18 備品購入費			諸収	21	03	03	03	028	2,400	
					19 負担金補助及び交付	2,400		自治総合センター助成金							
2. 根拠法令 災害対策基本法第5条第1項・2項、災害対策基本法第7条第2項															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果 旗ヶ崎二区自治会防災会(平成20年度コミュニティ助成事業(自主防災組織育成)) (現状) 地域内に狭小道路が多く、消防活動に支障をきたす地域であり、緊急に防災資機材を整える事が急がれる。 (事業効果) 分散設置消火器等の資機材を整備することにより、地区の防災力の向上が図られる。 永江4区防災会(平成20年度地域安心安全ステーション整備モデル事業) (現状) 平成12年の鳥取県西部地震では大きな被害を受けている、また、近年高齢化、特に高齢者のみで構成される世帯が増えているの、非力な高齢者でも扱える防災資機材を備える事が急がれる。 (事業効果) 軽量で使用しやすい資機材を整備することにより、地区の防災力の向上が図られる。															
6. 財源の説明 財源内訳の積算基礎 1) コミュニティ助成事業(自主防災組織育成) 旗ヶ崎二区自治会防災会 1,500,000円(防災資機材等整備) 2) 地域安心安全ステーション整備モデル事業 永江4区防災会 900,000円(防災資機材等整備)															
(参考) 自主防災組織数 137団体(平成20年4月10日現在) 組織率 30.97%															
目的別 性質別															